

## 令和2年9月市議会定例会 提案理由説明

本日ここに、令和2年9月越前市議会定例会が開会され、提案いたしました9月補正予算案をはじめ、各種案件のご審議をいただくに当たり、当面する市政の重要課題についてご説明を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解を賜りたいと存じます。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

さて、新型コロナウイルス感染症については、4月23日以降は本市で感染者が報告されていませんでしたが、7月31日以降に新たな感染者が7人確認され、8月31日までに計25人の感染が報告されています。

市では、2月18日に市新型インフルエンザ等対策本部を設置し、これまでに45回の本部会議を開催して、全庁を挙げて取組みを実施しています。

8月5日には市広報紙8月号の配布に併せて、①感染防止対策を徹底する、②他県との往来は注意して行動する、③感染リスクの高い「3密」を避ける、④感染防止対策の店舗等を利用する、⑤接触確認アプリ（COCOA）を導入する、⑥人権・個人情報保護を徹底する、の6項目から成る「市民の皆様への緊急要請」を市内各戸に配布しました。

引き続き市民の命と健康を守ることを第一に、新型コロナウイルス感染症に対する対策を進めてまいります。

### 【北陸新幹線】

次に、北陸新幹線については、県内4駅の中で唯一「仮称」となっている「南越駅」に関して、北陸新幹線新駅駅名候補選定委員会を設置し、5月15日に第1回委員会を開催して近隣市町の駅名に対する意見紹介や駅名候補の選定方針の決定、市内外からの1箇月間の意見募集など丁寧な手続きを経て7月21日の第3回委員会終了後に6つの駅名候補の答申をいただきました。

これを受け、市は8月11日に西日本旅客鉄道株式会社金沢支社に要望書を提出したところであり、来年春に西日本旅客鉄道株式会社が駅名を決定する予定です。

新幹線の本体工事については、市内工区において土木工事が終盤に差しかかり、秋頃からは本格的な駅舎建設工事に着手すると鉄道・運輸機構から聞いています。

南越駅（仮称）周辺のまちづくりについては、昨年度末に策定した南越駅周辺まちづくり計画の理念である「フォレストシティ&越前市版スマートシティ」

の実現に向け、都市計画・景観・環境の専門家による南越駅周辺整備開発ルール等検討委員会を設置し、7月21日と8月18日に委員会を開催したところであり、開発ルールや開発プログラムを本年度末に策定してまいります。

南越駅（仮称）に併設される道の駅の整備については、運営事業者との協議により、施設内の飲食物販テナントの数や観光案内所の機能を拡充するためにレイアウトを変更することとし、整備に係る2箇年の継続費の増額を9月補正予算案に計上いたしました。

なお、道の駅の名称については、来年春に決定する新幹線の駅名に合わせることにし、新幹線駅名とともに県内外に強くアピールしてまいります。

### 【新庁舎建設】

次に、本庁舎の建設については、1月に着手した旧庁舎と別館の解体工事が6月に完了し、引き続き庁舎前ひろばの整備工事を進めています。

ひろばには、イベント時や災害時に利用可能な給排水設備や電気設備等を整備し、来年春のグランドオープンに向け、県のシンボルロード整備事業と一体的に整備を進めています。

また、分庁舎跡地については、武生公会堂記念館など中心市街地の利便性向上を図るため、来年春までに駐車場を整備してまいります。

### 【コウノトリの巣立ち】

次に、コウノトリが舞う里づくりについては、安養寺町の人工巣塔で4月に孵化した4羽のコウノトリが6月21日・27日・7月5日に田んぼに降り立ち、巣立ちました。

本市では、平成21年4月に市食と農の創造条例を施行して環境調和型農業に力を注ぐとともに、平成22年度に市コウノトリが舞う里づくり構想を策定して取組みを進めた結果、平成22年から11年連続してコウノトリの飛来が続き、平成29年からは4年連続して野外コウノトリが産卵を行い、昨年はひなが誕生し、ついに本年は巣立ちが実現しました。

昨年誕生したひなは、間もなく亡くなってしまったため、巣立ちが実現したことを大変嬉しく思い、地元住民や農協、県をはじめ、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

今後も「市の鳥」であるコウノトリの自然繁殖と定着に向け、コウノトリが舞う里づくりを推進してまいります。

### 【令和3年度重要要望】

次に、本市が抱える各種事業の早期実現を目指すため、市議会議長と地元選出県議会議員の同席のもと、令和3年度に向けた国・県への重要要望書を8月21日に杉本知事に提出し、支援を強く要請しました。

今回の重要要望は、重点事項が12項目、重要事項が17項目の計29項目で、「新型コロナウイルス感染症対策について」などを新規要望として加えました。

### 【人口減少への対応】

次に、人口減少への対応については、市総合戦略に基づく取組みを推進した結果、8月1日時点の本市の人口は8万2,507人となり、昨年11月以降は増加傾向にあります。

その要因として、外国人市民が昨年10月以降増加を続け、8月1日時点で4,841人となり、市人口の5.9%を占めています。

### 【市総合計画の達成度評価】

次に、市総合計画に掲げる政策・施策の達成度について、市民の視点に立った評価を行い、その結果を市総合計画の効果的かつ効率的な推進に反映するため、本年度も市総合計画等達成度評価委員会による評価を実施しました。

内部評価の結果を基に、まちづくりの5本の柱と「地方分権に対応した行財政運営」の6項目に関する政策・施策について、その成果を中心に評価・検証をいただき、6月8日に同委員会から報告を受けました。

評価はA・B・C・Dの4段階で行われ、5項目がA評価、1項目がB評価という高い評価をいただきました。

今後も引き続き、市総合計画の着実な推進を図り、「元気な自立都市 越前」の創造を目指してまいります。

### 【経済・雇用情勢】

次に、経済・雇用情勢については、内閣府が8月17日に発表した4月から6月期の国内総生産（GDP）の速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比7.8%の減、年率換算で27.8%の減と大幅な落ち込みとなり、3四半期連続のマイナス成長となりました。

また、雇用情勢については、7月31日に福井労働局が発表した7月の武生公共職業安定所管内の有効求人倍率は1.11倍と、前月から0.20ポイント下降し、注意を要する状況にあります。

今後関係機関と連携しながら、経済・雇用対策の推進を図ってまいります。  
それでは順次、まちづくりの5本の柱に沿って、主な取組みをご説明いたします。

### 【元気な産業づくり】

まず最初に、1つ目の柱である「元気な産業づくり」について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた市内中小事業者等を支援するため、7月19日に販売開始した市コロナに負けない地域応援商品券については、発行した3万冊を完売したところであり、市コロナに負けない事業所等応援事業や市新型コロナ対策取組宣言制度と連携し、地域経済の回復に努めてまいります。

伝統産業の振興については、8月28日に新しい共同工房が完成したタケフナイフビレッジをメイン会場に、和紙の里・刃物の里・タンス町通りと連携して8月29日・30日に、－ECHIZEN－ 千年未来工藝祭2020を開催しました。

「つながる」をキーワードに、作り手と使い手、産地と産地、工藝と未来をつなげるため、ストアや作り手・産地の魅力を伝えるオンラインでの動画配信と各産地のリアルな催しを融合した形で実施しました。

まちなかの商業振興については、センチュリープラザ内に6月にフィットネスジム、7月に企業診断事務所が、市役所前の通りには7月にダイニングバーがオープンするなど、昨年に続き多様な店舗の出店が進んでいます。

武生中央公園内の大型遊具については、設置後30年から40年以上が経過し老朽化が著しいため、大型遊具のあり方について検討を行ってまいりました。

その結果、大型遊具の一部更新によるコウノトリ広場の整備が最も効果的と判断し、県補助事業を活用して来年度の第70回たけふ菊人形に向けた整備を行うため、第1期事業として令和3年度までの2箇年の継続費に係る所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

なお、武生中央公園内で7月に残念な事故が発生したことは、深い悲しみであり、ご遺族の皆様に謹んで哀悼の誠を捧げる次第です。

市では引き続き、武生中央公園の安全管理に努めてまいります。

2020たけふ菊人形については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業規模を縮小して10月9日から11月8日まで開催します。

菊花や菊人形を展示するほか、土・日・祝日には大型遊具の運行やOSK日本歌劇団による催しなどを実施する予定です。

開催に当たっては、実行委員会が新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラ

インを策定し、来場者の安全確保に努めてまいります。

観光の振興については、国や県が実施する観光需要喚起策に合わせ、バスツアーの助成や市内施設が割引利用できるクーポン券の発行等を行う観光誘客促進事業が好評のため、9月補正予算案に所要額を計上いたしました。

紫式部と国府資料館については、来年春のオープンに向け、工事及び展示委託業務を進めており、多くの方に親しみをもってもらえる愛称を専門家のご協力を得て決定してまいります。

地方創生推進交付金を活用したインバウンド事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本年度の事業実施に優先順位を付け、慎重に取り組んでいるところであり、事業変更や繰越しも視野に入れ、国や県と協議を行っています。

鳥獣害対策については、36集落に対して延長26.8キロメートル分のワイヤーメッシュや電気柵等の防護資材を現物支給するとともに、近年生息域が拡大しているニホンジカの対策として、9集落で延長4.3キロメートルのシカ用防護柵の設置を予定しています。

4月から8月20日までのイノシシの捕獲実績については、イノシシが41頭で昨年同期と比べて210頭の減、ニホンジカは126頭で17頭の増となっています。

## 【元気な人づくり】

次に、2つ目の柱である「元気な人づくり」について申し上げます。

高齢者の総合相談窓口として、介護・医療・保健・福祉などの様々な側面から包括的な支援を行う地域包括支援センターについては、近年の急速な高齢化の進展を背景としたひとり暮らし高齢者の増加等により、担う業務の質と量が大きく変化しており、地域共生社会の実現に向けた連携拠点として、地域により根差した専門性の高い支援を行うことができるよう、従来の地域包括支援センター・サブセンターを機能強化し、来年度から6箇所の日常生活圏域毎に地域包括支援センターを設置します。

そこで、地域包括支援センター事業の債務負担行為に係る所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

就学前教育・保育については、市子ども・子育て支援計画（第2次）等に基づき、6月29日の第1回子ども・子育て会議において「公立認定こども園のあり方、整備方針について」を諮問し、8月7日の第2回会議で公立認定こども園の役割を確認いただいたところです。

健康づくりの推進については、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが、

特に高齢者や基礎疾患のある方に高いことが報告されており、生活習慣病の早期発見に繋がる「健康診査」が有効であるため、これまで以上に受診率の向上に取り組んでまいります。

学校教育については、夏休み期間の短縮による暑さ対策として、6月補正予算に計上したスポットクーラーやサーキュレーター、ミスト扇風機などを小中学校に整備したところであり、感染症対策をさらに徹底し、子どもたちの学校教育活動を支援するため、必要な備品等の購入に係る所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

文化の振興については、武生公会堂記念館で9月27日まで、特別展「御堂陽願寺の名宝」を開催しており、陽願寺の寺宝を通して本市の歴史を紐解く展示を行っています。

また、紫式部・源氏物語関連展示として10月9日から12月6日まで、企画展「すがたを変える源氏物語―一時世に移ろわぬ千年のかがやき―」を開催する予定です。

武生中央公園水泳場の再整備については、8月5日に公募設置等計画に関する選定委員会を開催し、特定公園施設として屋内水泳場・駐車場、公募対象公園施設として屋内遊戯場・スポーツジム・コンテナショップ・賑わい広場・園内電車を提案した、カワイ株式会社を代表企業とするTCP共同事業体を選定したところであり、9月下旬に基本協定を締結し、設計協議を進めてまいります。

### 【快適で住みよいまちづくり】

次に、3つ目の柱である「快適で住みよいまちづくり」について申し上げます。

地域住民の生活や経済を支える公共交通については、新型コロナウイルス感染症の影響により福武線や路線バスの利用者が大幅に減少しているため、県や沿線市町と連携し、緊急支援に係る所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

旧丹南広域農道については、4月1日より上太田第2交差点から塚原交差点までの4,730メートル区間を国道365号に振り替え、県の管理路線となりました。

同路線の4車線化事業については、第1期工事として片屋町の片屋交差点から岡本町の大虫農免道路交差点までの2,730メートル区間の整備を県と市が分担し、市は片屋交差点から上太田第2交差点までの1,370メートルの市道区間を整備してまいります。

平成30年度の一人当たりの家庭系ごみ排出量については、本市が県内9市で最少となり、平成19年度から12年連続で1位を維持しています。

南越清掃組合が南越前町上野に建設中の新ごみ処理施設については、煙突工事やプラント機器の設置がほぼ完了し、来年1月の稼働に向け、機器の調整を進めているところです。

新ごみ処理施設に伴うごみの出し方の変更については、各町内を対象とする説明会を7月から実施しており、11月には市広報紙に特集記事の掲載とごみ分別変更チラシの配布を行うとともに、12月には丹南ケーブルテレビによる情報番組の放映やごみ分別の新ポスターの配布を行い、さらに周知してまいります。

コウノトリが舞う里づくりについては、4月中旬に安養寺町の人工巣塔で誕生した4羽のコウノトリがすべて巣立ちをしたため、県や地域活動団体等と7月19日にコウノトリ巣立ち記念報告会を開くとともに、8月23日には、2020コウノトリが舞う里づくり大作戦を開催しました。

大作戦では、先進地である兵庫県豊岡市をはじめ、栃木県小山市・千葉県野田市の市長と意見交換を行う「自治体かいぎ」や、各市の地域団体による取り組み発表などをウェブ上で行いました。

### 【安全で安心なまちづくり】

次に、4つ目の柱である「安全で安心なまちづくり」について申し上げます。

交通安全対策については、母親の立場から交通事故防止等に取り組んでこられた市交通安全母の会が7月31日に、令和2年安全功労者内閣総理大臣表彰において、交通安全関係の部で表彰を受けました。

市としても名誉なことであり、加藤会長をはじめ母の会の皆様に心からお祝い申し上げます。

防災対策については新庁舎において初の市災害対策本部運営訓練を6月26日に実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策に留意した広域避難場所への避難者の受け入れについては、市避難場所開設・運営マニュアルに基づき、7月20日・21日に地区担当班の職員を対象に、避難場所のレイアウトや受付要領の確認、段ボールパーテーションの設置等の訓練を実施しました。

さらに、8月24日には市防災会議を開催し、広域避難場所における新型コロナウイルス感染症対策や市洪水ハザードマップの改訂等について委員からご意見をいただいたところであり、11月に開催予定の市防災会議において、市地域防災計画に反映してまいります。

市斎場及び霊園については、業務委託契約が本年度末をもって終了します。そこで、両施設の管理運営の委託先を選定するプロポーザルを本年度中に実施するため、債務負担行為に係る所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

### 【市民が主役のまちづくり】

次に、5つ目の柱である「市民が主役のまちづくり」について申し上げます。

市制施行15周年記念式典については、市生涯学習センターeホールにおいて10月1日に開催し、市政功労者等の表彰を行います。

人権尊重の取組みについては、新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮及びデマへの注意について、市ホームページや市広報紙等に掲出するなど、市民に理解と協力を要請しています。

5年毎に行われる国勢調査については、9月から調査員が市内各戸を訪問して調査書類を配布します。

新型コロナウイルス感染症対策として、インターホンやドア越しなど非接触による調査活動に努めるほか、スマートフォンやパソコンによるオンライン回答や郵送による回答を推奨してまいります。

### 【地方分権に対応した行財政運営】

次に、「地方分権に対応した行財政運営」について申し上げます。

行財政の構造改革については、昨年度改定した市行財政構造改革プログラムVのもと、新実行計画を策定して推進を図っており、同プログラムに基づく遊休資産の処分と有効活用の一環として、旧今立総合支所の南側の今立消防分署跡地の年内売却を目指しています。

また、武生郵便局南側の市有地売却については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、企業の投資意欲を見極めた上で、年内に再公募を実施してまいります。

各種証明書等の受付交付窓口については、来庁者の密集回避及び職員の分散配置を行い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時にも窓口業務を安定的に継続するため、所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

### 【結びに】

以上、当面する市政の重要課題への対応について、その取組みの一端を述べさせていただきました。

今後も「現地現場主義」をモットーに、市民と協働のまちづくりを職員と一丸となって推進し、「元気な自立都市 越前」を築いてまいります。



何とぞ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。  
なお、議案第66号から議案第78号までの提案理由については関係部長よりご説明申し上げます。